

七月号塾だより

編集

山口将志
大崎拓己

矢田力椰

今月号のトピックス

- ・ 夏期講習のお知らせ
- ・ 保護者面談について
- ・ いざ、受験勉強!!
- ・ 感謝と謝罪の言葉

夏期講習のお知らせ

・ 7月28日～8月29日の期間は夏期講習期間となります。

・ 中1生、中2生は2学期の予習範囲を進め、中3生は入試・北辰テストに向けた勉強を行います。

原則全員参加をお願いいたします。講習未参加の場合、講習内容に関しては補習をすることができません。

・ 夏期講習中は中学生の通常授業はありません。

・ 夏期講習中は小学生は特別講座になります。詳しくは後日お配りする案内にてご確認ください。

・ **6月18日（水）**以降に生徒さんにお配りした『講習受講科目登録書』を**7月18日(金)まで**にご提出ください。

・ あらかじめ欠席が分かっている場合には、早めにご連絡ください。振替の補習を行います。

塾内テストのお知らせ

○今までの学習の定着度を測るため、塾内テストを行います。

○受講科目に関係なく中1、中2は数学と英語、中3は五教科のテストを行います。

○学年ごとに日程が違いますので、お気を付けください。

中1 7月14日（月）19：00～21：00

中2 7月15日（火）19：00～21：00

中3 7月16日（水）17：00～22：00

○習い事等で来られない場合、別日に振替させていただきます。

○コンパス、定規をお持ちください。

保護者面談のお願い

・**7月1日（火）から7月23日（水）**までの間で、本母校に通う中学生の保護者様を対象として保護者面談を実施させていただきます。

・**6月18日（水）**以降に生徒さんにお渡しした『**保護者面談実施について**』を**7月3日（木）**までにご記入の上、教室にご提出ください。

・日程調整後、保護者面談の日時をLINEにてお伝えいたします。

受験勉強開始！

7月1日（火）から中学3年生の受験勉強が始まります。来年の2月26日に行われる学力検査を迎えるまで、平日は基本的に毎日3時間30分の勉強をしてもらいます。

7月1日から2月21日までは240日あります。「240日もある！ 多い！」と思う生徒さんがほとんどで、何百日も先のテストに向けて勉強しなければいけないことにうんざりしてしまうかもしれません。そう思うのが自然で、むしろ、このタイミングで「勉強するぞ！」と前向きになれる人がいたら、ものすごい才能の持ち主です。

ちなみに、7月1日から240日さかのぼると、去年の11月3日にあたります。それほど昔ではない、という感じがしませんか？

去年の11月3日というと、2学期期末テスト期間が始まったあたりです。そこからの期間をもう一度繰り返すと、受験は終わります。これから先のことを想像したときには長く見えるような時間でも、終わってしまえば一瞬だった、というのはよくある話です。

決して楽な時間ではないと思いますが、受験生同士で切磋琢磨し、競い合い、励ましあいながら受験日当日まで耐え忍んでほしいと思います。

去年の受験生は全体的に仲が良く、学校の垣根を超えて成績や志望校の話をしていました。入試本番、実際にテストを受けるのは自分一人ですが、それに至るまでの長い受験勉強期間は、集団での戦いです。

「1日ぐらい、休んでもいいだろう」と思う日もあるかもしれませんが。しかしそうやって休んでいる間も、周りの人は休まず勉強をしていることが多いです。学力ももちろん大切なのですが、長い間耐え忍び努力を続けることができるかどうか、という忍耐力が受験では大きくものを言います。今、自分より低い学力の人が休まず努力し急成長を遂げる、ということもありますし、逆にたゆまず努力を続ければ、ずっと前にいたはずのライバルを追い越せるかもしれません。（大崎）

感謝と謝罪の言葉

私は学生時代のアルバイトから塾講師という仕事をずっと続けています。（塾講師をやる以前に知り合いの子の家庭教師をしていたこともありましたが。）

なぜ、この仕事をずっと続けているかというと、この仕事が好きだからです。好きな理由を挙げればきりがありませんが、一つだけ挙げるとすると「感謝」の言葉をたくさんもらうからです。

もちろん、他の職業でも感謝の言葉をもらうことはあると思いますが、塾の仕事は本当に多くの感謝の言葉を頂きます。受験に合格した時、成績が上がった時だけでなく、毎日の仕事の中でも、生徒さん達が授業終了後に「ありがとうございました。」という言葉をかけてくれるのです。

私もそれなりの年齢になっていますので、授業終了時刻になるとさすがに体が疲れている時はあるのですが、生徒の皆さんからの「ありがとうございました！」を頂くと、本当にパワーをもらい、「また明日から頑張ろう！」という気持ちになれるんですね。

また、山口学習塾の生徒さん達は、本当にしっかりした子が多く、ほんの少しのことで直ぐに「ごめんなさい」と謝ってくれます。それこそ、こちらの不注意で体が少しぶつかってしまった時などに、私よりも先に「ごめんなさい」と言ってくれたり。（私の方が皆さんのこういう姿勢を見習わないといけないくらいです 汗）

さて、話は急に私の家庭に移ってしまいますが。私は子どもたちの勉強には極力関わらないようにしています。やはり自分の子どもを教えるのは、お互いに甘えが出てしまい難しいんですね。。(;^_^A

しかし、感謝と謝罪の言葉だけは必ず言うように口酸っぱく伝えています。それは私自身が生徒さん達から感謝や謝罪の言葉を頂いて、日々の生活の活力になっているからなんです。生徒の皆さんのように誰かの心を明るくできるような人に育って欲しいと密かに願っていたりします。（山口）